

池田中学校への想い



錦江町立池田中学校
校長 鶴田 数広

本校は、昭和二十二年四月、大根占中学校池田分校として開設。昭和二十五年三月に池田中学校として分離独立しました。分校時代を併せると六十一年の歴史を持つ中学校です。昭和二十二年に中学新一年生として入学した方々も、今年で七十二歳になっていらつしやるのではないでしょうか。

私が池田中学校への赴任が決まったとき、周囲から駅伝で有名な学校であるという度にも聞かれました。確かに本校には、平成三年度九州中学校女子駅伝大会五位・平成四年度同大会四位の入賞盾を始めた百何十ものトロフィーが飾られています。しかし近年は、生徒数の急減により、どちらかといえば卓球や文化面での活躍が話題になっています。

このような池田中学校も本年度で閉校です。小規模校独特の家族的な雰囲気の中学校在り地域からなくなることには寂しさを感じます。



1974年修学旅行での一枚

しかし、統合により旧大根占四中学校それぞれの歴史を引き継ぎながら、生徒たちがより多くの人の中で切磋琢磨し成長していく機会を得ることはまた、とても大切なことではないでしょうか。

子どもたちの未来をよりすばらしいものにしたと願って。

錦江町立池田中学校 3年 馬込 真子

五十八年という長い歴史を経て、伝統ある池田中学校は今年度幕を閉じます。

最初、池田中学校が閉校すると聞いたときは驚きを隠せませんでした。入学するに寂しい気持ちになりました。入学するまでは三年間という期間が長く感じていたはずなのに、今振り返ってみると、これまでの出来事が昨日あったことのように頭をよぎります。

今まで何人の先輩たちが思い出を胸に卒業していったのでしょうか。沢山の人の思いと歴史の詰まった池田中学校。いつまでもいつまでも皆さんの心に残ってくれたいと思います。

閉校式実行委員長 横井 正美

「山は白山、川は老崎」自然豊かな学舎、学校教育、地域の人々に教育・地区活性化の場として長年愛され、親しまれてきた池田中学校もいよいよ平成二十年三月をもって、五十八年間のすばらしい歴史に、幕を閉じることになりました。過疎、少子、高齢化の進んでいる現在、時代の流れでやむを得ないと寂しく思います。

閉校を間近に迎え、これまで池田中学校の五十八年間の歴史を築き上げてきた数多くの先輩方、後輩の皆さんをはじめ、地域の皆様方に深く感謝申し上げます。

池田中学校は、昭和二十五年四月の開校以来数多くの卒業生を送り出し、県内外で池田魂を胸に色々な分野で活躍されており現在に至っております。これもひとえに歴代校長先生をはじめ歴代諸先生

方の心温まる三年間の教育の賜物と感謝申し上げます。

私も第十七回卒業生の一人であります。

我々の昭和三十年代後半の在校時は戦後のベビーブームの時代で全校生徒数二百二、三十名位の大所帯で一クラス約四十名位、校舎も木造長屋造りで、教室満杯で寄り添って勉強していた事を思い出します。また、運動場が無かったため、隣の小学校グラウンドでの保健体育の授業も今は懐かしい思い出です。その当時は学校給食も無く、各自弁当持参、冬場は廊下に木製の炭火温め器で弁当を温めて、食欲旺盛の年頃なので昼食をおいしく頂くことが出来ました。学校の生徒への十分な心遣い本当にありがとうございました。その後、昭和五十四年に現在の校舎が完成し、また運動場も整備され、生徒の皆さんにとってはすばらしい環境のもとで学生生活を送ることが出来、現在に至っております。

平成十二年一月四日には、池田中学校創立五十周年の記念式典を行いまして五十年の節目といたしまして校訓である「向学、克己、友愛」の記念碑も設置しております。平成二十年三月二十三日予定の閉校記念式典に向けて平成十八年度から実行委員会を設立し、記念事業部、記念誌部、記念碑部の三つの専門部会を設け学校の事務局を中心に卒業生、地域の皆さん一丸となって事業を着々と進めております。多大なるご協力ありがとうございました。

最後にこれからの時代を背負って立つ生徒諸君、来年度から四校統合して新設錦江中学校の生徒として胸を張って勉学にスポーツに励み、なお一層のご活躍を祈念申し上げます。

五十八年間ありがとう池田中学校



1964年体育部



1973年の体育祭での仮装



1965年の卒業生



現在の校舎